

## English follows Japanese

### 賜物を軽んじてはいけません 創世記 25:24-34

皆さんの中で兄弟姉妹に恵まれて育った方はどれくらいいらっしゃるでしょうか。兄弟げんかや意見のすれ違いもあったりしたのではないのでしょうか。今日は兄弟の間で度の過ぎた確執を生じた二人についてお話したいと思います。これまで3週間に渡って特にイサクの生涯について見てきましたが、この箇所は飛ばしていました。覚えていらっしゃるでしょうか。イサクの物語はリベカの妊娠の話を通して彼らの強い信仰を見るところから始まりました。話は創世記の後半で中心となるヤコブの話へと一気につながっていきます。神はヤコブが生まれる前から、アブラハムとの契約をヤコブに受け継がせることを選ばれました。創世記 25:23 でヤコブとエサウの誕生の物語の最後に「兄が弟に仕える。」とあります。今週はこの物語の続きを読み進め、なぜこのことが重要かを見ていきます。創世記 25:24-26 をまず読んで、どちらが兄でどちらが弟なのかを見ましょう。「月日が満ちて出産の時になった。すると見よ、双子が胎内にいた。25. 最初に出て来た子は、赤くて、全身毛衣のようであった。それで、彼らはその子をエサウと名づけた。26. その後で弟が出て来たが、その手はエサウのかかとをつかんでいた。それで、その子はヤコブと名づけられた。イサクは、彼らを生んだとき、六十歳であった。」祈りましょう。

アブラハムに最初に約束された祝福を受け継ぐ3代目が誕生しました。ここではイサクの時と違って二人の子どもを神は祝福します。最初に生まれたのはエサウです。生まれたときから体が毛深かったために、そのような名前が付けられました。このことは後に彼の人生を特徴づけるものとなります。おそらく彼が赤毛であったことを示していると思われます。彼が赤毛であったとしたら、現代の赤毛の人たちのように人混みの中でも目立つ存在であったでしょう。ですがそれに対抗するように、次に生まれたヤコブは文字通り彼のすぐそばにいました。聖書にはエサウのかかとをつかんでいたとあります。ヤコブという名前はかかとをつかむという意味です。それは彼が人をだますことを示唆する表現でした。このことは彼の人生の大部分を特徴づけるもので、彼とエサウの物語において重要な部分でもあります。ほんの数分ではありますが、エサウが兄であるにも関わらず、神はエサウではなくヤコブを祝福すると約束されたことを私たちは知っています。この二人の関係は子どもの時から大人になっても、常にライバル関係にありました。加えて、彼らの両親はそれぞれのお気に入りを決めており、彼らの性格は全く相容れないものであったことも影響しました。27-28節を見て下さい。「この子どもたちは成長した。エサウは巧みな狩人、野の人であったが、ヤコブは穏やかな人で、天幕に住んでいた。28. イサクはエサウを愛していた。狼の獲物を好んでいたからである。しかし、リベカはヤコブを愛していた。」

現代でも同じことが言えると思いますが、双子であったとしても他の兄弟と同じく、性格や特技、才能は異なります。ですからヤコブとエサウも成長するにつれ、全く異なった二人の青年となりました。エサウはアウトドア派でした。狩りが好きで、家や町ではなく野に出て狩りをすることに多くの時間を費やし、家族はその恩恵を得ていましたが、とりわけ父のイサクはエサウの獲物を好んで食べていたようです。私が育った社会では、彼は「男の中の男」の典型と思われたらと思います。家族のために食べ物を持ち帰り、自分でなんでもこなし、野外での活動にも慣れた人です。一方のヤコブ。彼を表現するとすれば、普通の人、平凡な人といったところでしょうか。目立ちたがり屋とも思える兄のエサウに比べ、ヤコブは普通の人で、家にいることを好む人でした。天幕に住んでいたと書かれているので、家の近くで働いていたということです。おそらく羊の世話などの仕事をしていたのだと思われます。イサクはエサウを、リベカはヤコブを愛していたということで、両親は二人の対立関係を解消することはできませんでした。親が一方の子を愛していたということは、もう一方の子を愛していなかったということではありませんが、一方をより愛したということです。

この青年二人についての前置きはこれくらいにして、これはヤコブについての物語ですから、ヤコブがどのような人物であったかが分かる、彼ら二人の最初のエピソードを見ていきましょう。29-34節を見て下さい。「さて、ヤコブが煮物を煮ていると、エサウが野から帰って来た。彼は

疲れきっていた。30. エサウはヤコブに言った。「どうか、その赤いのを、そこの赤い物を食べさせてくれ。疲れきっているのだ。」それで、彼の名はエドムと呼ばれた。31. するとヤコブは、「今すぐ私に、あなたの長子の権利を売ってください」と言った。32. エサウは、「見てくれ。私は死にそうだ。長子の権利など、私にとって何になろう」と言った。33. ヤコブが「今すぐ、私に誓ってください」と言ったので、エサウはヤコブに誓った。こうして彼は、自分の長子の権利をヤコブに売った。34. ヤコブがエサウにパンとレンズ豆の煮物を与えたので、エサウは食べたり飲んだりして、立ち去った。こうしてエサウは長子の権利を侮った。」

ここでエサウは、実際にはヤコブについての物語の全てにおいてですが、とても好ましくない、お世辞にも良いとは言えない人物として描かれています。エサウは巧みな狩人であったとかかれていましたが、ここでは狩りの収穫がなかったようです。数日間、野に出て狩りをしていたのでしょう。ここで聖霊に導かれた筆者モーセは、いつもエサウを出し抜いていたヤコブを、頭の回転が早く、エサウが到底太刀打ちできない人物として描写しています。この物語で何が起こったのかを理解するためには、ここにある長子の権利という概念を理解する必要があります。長子の権利には大きな意味がありました。通常、長男は2倍の遺産を受け取ることになっていました。つまり5人の息子がいた場合、相続財産は6分割され、長男が2割、他の4人の息子がそれぞれ1割ずつが与えられます。ですから数分の違いで生まれた双子の場合、その数分の違いが父親からの遺産の3分の2と3分の1との違いにつながります。エサウがお腹が空いて死にそうな時、調子の権利など何になろうと言ったことに、当時これを聞いたユダヤ人はあきれ驚いたことでしょう。ユダヤ人にとって長子の権利とは、単に相続する金銭的な価値をはるかに超えた価値あるものでした。軽々しく扱われるべきではない名誉なものでした。ですから34節で「エサウは長子の権利を侮った」とあるのです。エサウはこの日、狩人として成果を上げられなかっただけでなく、誤った判断をし、物事の重要性に関する考え方も理屈も判断も全てが未熟でした。

重要なのは、なぜこの話が私たちに伝えられたのかということです。私たちがそれにどう答えるかが、全く異なる応答につながるからです。今までに何を見てきたでしょう。創世記25:23には、この兄弟について「兄が弟に仕える」とありました。ヤコブの人生について更に読み進めていくと、この預言は神が祝福を与える相手として、エサウではなくヤコブを選んだという事が明確になります。では、ヤコブが欺きによってエサウの長子の権利を奪い、家督を継ぐ一番手でなく二番手となるようにしたのは、単に神がリベカに約束したことを果たしただけということになるのでしょうか。私たちの人生において神のご計画が達成されるのであれば、このように他人をあしらうことは問題ないのでしょうか。少なくとも人間の視点からは家族に対する祝福をエサウからヤコブに移すという神のご計画が達成され始めたということなのでしょう。確かにそうです。ですが、神のご計画が成るためにヤコブがこのようなことをする必要があったのでしょうか。もちろんそうではありません。そこが問題なのです。神は既にヤコブを祝福すると約束されていたのに、ヤコブには彼の祖父のような、神がそれを成してくださると信頼する信仰を持っていなかったのです。アブラハムとサラはイシュマエルの誕生を通して「神の力になろう」としましたが、ヤコブは兄の弱みに付け込むことで「神の力になろう」としました。これは真の信仰ではありません。むしろ彼の不信仰を示しています。真の信仰とは策略や欺いたりすることなく生きる事ですが、ヤコブ自身がこの真理を学ぶには長い時間がかかりました。彼の人生において、この時はヤコブ、つまり欺く者という彼の名前に相応しい生き方をしていたわけです。

ですが、信仰を欠き、人を騙して利用するというごく人間的な判断をしてしまったヤコブを批判する前に、エサウにも非があることを認めなくてはなりません。エサウが被害者であり、彼に同情すべきだと思うのは容易いことですが、新約聖書を記した者たちを通して、神が私たちにこのことをどのように見ることを望んでいるのかを理解する必要があります。新約聖書にはエサウの人生において彼の行動から学ぶよう促されている箇所が2つあります。ヘブル人への手紙12:15-17にはこうあります。「だれも神の恵みから落ちないように、また、苦い根が生え出て悩ませたり、これによって多くの人が汚されたりしないように、気をつけなさい。16. また、だれも、一

杯の食物と引き替えに自分の長子の権利を売ったエサウのように、淫らな者、俗悪な者にならないようにしなさい。17. あなたがたが知っているとおりに、彼は後になって祝福を受け継ぎたいと思ったのですが、退けられました。涙を流して求めても、彼には悔い改めの機会が残っていませんでした。」新約聖書に描かれているのは、エサウが与えられた賜物を大切にしない姿です。聖霊の靈感によってヘブル人への手紙を書いた作者は、エサウの事を神の恵みの賜物を誤って用いることで罪を犯した例として描いています。先ほどユダヤ人の目にはあきれ驚くほど悪いことだと話しましたが、このことは私たちの目にも愚かな判断だと思われまじし、尊いものを粗末でよこしまに扱うようなものであることは明らかです。私たちクリスチャンが罪の誘惑に負けて罪を犯すことを選ぶとき、エサウが長子の権利を軽んじたように、私たちも神の恵みと救いを軽んじることになるのだということを御言葉は明確に示しています。ヘブル人への手紙の著者は、イエス・キリストを救い主として知っていることと主張している人々について語っています。私たちが恨みや怒りを抱いたり、性的に不道德な生き方をするとき、それがエサウと同じ生き方だとしています。エサウには長子の権利という素晴らしい賜物が与えられていました。私たちにも永遠のいのちをもたらす救いという最高の賜物が与えられています。ローマ人への手紙 6:23 にあるように「罪の報酬は死です。しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」罪からの救いは、文字通り死からいのちをもたらすもので、私たちが受け取ることでできる最高の賜物です。エペソ人への手紙 2:4-5 は「しかし、あわれみ豊かな神は、私たちが愛してくださったその大きな愛のゆえに、5. 背きの中に死んでいた私たちを、キリストとともに生かしてくださいました。あなたがたが救われたのは恵みによるのです。」と語っています。

皆さんはそのような見方をしていますか。罪を犯し、救いによって解放される前の生活に戻ってしまう時、心が痛みますか。神の目には、私たちの罪はエサウが与えられた長子の権利という素晴らしい賜物を蔑ろにしたのと同じに映ります。それなのに多くの場合、私たちは罪によって神の恵みを軽んじてしまいます。エサウが自分が持っていた最高のものを一杯の豆の煮物と交換してしまったように、私たちも罪が与える一時的な快楽に負けてしまいます。その豆の煮物はさぞ美味しかったのでしょうか。私も煮込み料理は大好きです。けれど、エサウが手放したのと同じくらいに価値があったのでしょうか。私たちは救いを失うことはありませんが、私たちが犯す罪は、神の恵みをそのように軽んじても構わないほどの価値があるのでしょうか。私たちは神の恵みや神の恵みを一杯の煮物と交換してしまっていることがあまりにも多いのではないかと恐れています。イエス・キリストが十字架上で父なる神と引き離され、その命を懸けて下さったことを、些細な事として扱ってしまいます。あなたはクリスチャンかも知れませんが、自分の救いや、救いの中で与えられた神のめぐみを、これまでどのようにあしらってきたかを悔い改める必要があるかも知れません。あるいは、どうしても諦めきれない罪があるという方がおられるかも知れません。私たちはそんなこと些細な事だとか、自分のせいではないと自分に言い聞かせます。ですが神が与えてくださる答えは告白と悔い改めです。神の前に自分のしていること、考えていること、言っていること、見ていることが罪であると告白し、神の助けを借りて、その罪から離れ違う生き方を望むのです。ヨハネの手紙 第一 1:9 はクリスチャンに向けて書かれています。「もし私たちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。」今そのきよめをを必要とされていませんか。ヘブル人への手紙 12:17 に気づきませんでしたか。「あなたがたが知っているとおりに、彼は後になって祝福を受け継ぎたいと思ったのですが、退けられました。涙を流して求めても、彼には悔い改めの機会が残っていませんでした。」数週間後には、このイサクを通して与えられた家族に対する祝福と密接な関係がある長子の権利を、ヤコブが兄を欺いて奪ったことを見ていきます。その時、エサウは父がもはや与えることができなくなった祝福を与えてくれるようにこい願います。神の命令に従って祝福を与えなかった人間の父であるイサクと違い、私たちには罪を悔い改めるとき赦しを与えると約束してくださる天の父がおられます。イザヤ書 55:7 は「悪しき者は自分の道を、不法者は自分のはかりごとを捨て去れ。主に帰れ。そうすれば、主はあわれんでくださる。私たちの神に帰れ。豊かに赦してくださるから。」と語っています。

私たちが何をしたとしても、誰が罪を悔い改めてみもとに来たとしても、神が赦しを約束してくださるのはなぜでしょう。考えて見て下さい。大量殺人を犯した人がやってきて、それらの殺人を悔い改めるとして、あなたは、私はその人を許すでしょうか。悔い改めはその人の人生における神の働きなので、神はそれを約束してくださるのです。ヤコブは2番目に生まれたにも関わらず、神に選ばれた者であったことは既にお話ししました。彼は信仰が欠けていたために神の目的を自分の方法で達成しようとしてしまいましたが、神が彼を選んだという事実はなくなりませんでした。これが新約聖書におけるヤコブとエサウの物語が持つ2つめの重要な意味です。彼らの物語から、人生において人を悔い改めと信仰に導く救いの働きは神によるものだという事が分かります。私たちには神を選ぶことも、神との関係を持つと働きかけることもできません。もし今日、皆さんの心に自分が罪人であり、イエス・キリストに罪を赦してもらう必要があるという確信が与えられたのであれば、その思いは皆さんから出たものではありません。神様が聖霊を通してそのように導いてくださっているのです。ローマ人への手紙 9:11-15 では、このことをヤコブとエサウの物語を通して教えてくれます。「その子どもたちがまだ生まれもせず、善も悪も行わないうちに、選びによる神のご計画が、12. 行いによるのではなく、召してくださる方によって進められるために、「兄が弟に仕える」と彼女に告げられました。13. 「わたしはヤコブを愛し、エサウを憎んだ」と書かれているとおりです。14. それでは、どのように言うべきでしょうか。神に不正があるのでしょうか。決してそんなことはありません。神はモーセに言われました。「わたしはあわれもうと思う者をあわれみ、いつくしもうと思う者をいつくしむ。」」神がエサウを憎むと言われたのは、単に神はエサウを選ばず、代わりにヤコブを選んだと言われたのです。難しい箇所について言葉を濁すつもりではありませんが、明確な点はローマ人への手紙 9章において、誰が祝福を受けるのか、誰が救いと赦しを受けるかは神の選択されることだということです。今日ここにいる私たち全てが神の赦しを必要としています。もしあなたがイエス・キリストを主であり救い主として知らないのであれば、この世における最大の問題はあなたが罪の中で死んでいるということです。十字架であなたの罪の罰を受けて下さったイエス・キリストだけが、その罪の赦しと新しい永遠の命を与えることのできるお方です。もし今日、自分の罪を認め、神に従わず神に栄光を捧げることができないことを認めるなら、神が求めていらっしゃるのあなたは悔い改める事です。神は悔い改めと信仰をもってご自分のもともとに来るものを受け入れると約束しておられます。ヨハネによる福音書 6:37 は「父がわたしに与えてくださる者はみな、わたしのもとに来ます。そして、わたしのもとに来る者を、わたしは決して外に追い出したりはしません。」と言っています。最後に、信徒の皆さんに問いたいと思います。自分の人生における罪に苦しんでおられますか。罪を告白し、その罪を手放し、克服できるよう神の助けを求めてください。神の恵みを、また神の大きな愛ゆえに与えられた救いを軽んじないでください。一杯の煮込み料理が与えてくれる一時的な満足感のような自分に都合の良い罪のために、永遠に重要である神との関係を犠牲にし、神の恵みを軽んじることがあってはなりません。祈りましょう。

## Do Not Despise the Gift Genesis 25:24-34

How many of you were blessed with brothers and sisters growing up? Anyone ever have any fights or disagreements with your brothers or sisters? Today, we are introduced to two brothers who took sibling rivalry to a whole new level. We spent the last 3 weeks basically covering the life of Isaac in particular and skipped this passage. To refresh your memory, the story of Isaac began by using the narrative of Rebekah's pregnancy to demonstrate their strong faith. That story was also moving us quickly to the person who will receive primary focus through the end of Genesis, Jacob. And even before Jacob is born, God has chosen to pass the blessing of the Abrahamic Covenant on through Jacob. Genesis 25:23 ended the story of Jacob and Esau's birth by saying, **The older shall serve the younger**. This week as we continue this story, we see why this is so significant. Let's begin by reading verses 24-26 of Genesis 25 to discover who is the younger and who is the older one. **<sup>24</sup>When her days to give birth were completed, behold, there were twins in her womb. <sup>25</sup>The first came out red, all his body like a hairy cloak, so they called his name Esau. Afterward his brother came out with his hand holding Esau's heel, so his name was called Jacob. Isaac was sixty years old when she bore them.** Let's pray.

Now we see this third generation born that will inherit the blessing first promised to Abraham. In this case, God blesses with not one child as in the case of Isaac, but two. The first born is Esau. He is named that because of his hairy body even at birth. This would be a significant feature later on in his life that would apparently distinguish his features throughout his life. It is likely that it refers to his hair color as being red. If so, that would make him stand out in a crowd as even a red-haired man or woman does today. Not to be outdone, though, the second born Jacob is literally right on his heels. It says he is holding Esau's heel. Jacob's name means...he grasps by the heel. This was a colloquial expression to show that he was a deceiver. This will also characterize much of his life and become an important part of the story between him and Esau. We already know that God has promised that Jacob and not Esau will be blessed, although Esau is the oldest, by just a few minutes. Their relationship seems to be defined by rivalry and competition throughout their childhood, and into adulthood as well. And it didn't help that their parents picked favorites and their personalities were completely different. Look at verses 27-28. **<sup>27</sup>When the boys grew up, Esau was a skillful hunter, a man of the field, while Jacob was a quiet man, dwelling in tents. <sup>28</sup>Isaac loved Esau because he ate of his game, but Rebekah loved Jacob.**

Just as is still true today, even twins as all other siblings have different personalities and skills or gifts. So Jacob and Esau were two very different young men as they grew. Esau was an outdoorsman. He love to hunt, and spent a lot of his time away from his family and the cities out in the wild hunting for game, which his family, especially his father Isaac apparently enjoyed eating. In the culture I grew up in, he would have likely been the epitome of a "man's man." He could bring home food for his family and take care of things on his own, and was comfortable in the outdoors. Then we have Jacob. The choice of words here to describe him would really define him as a normal or ordinary man. Compared to his brother Esau who may have been perceived as sort a standout rugged man, he was somewhat ordinary, and preferred to be at home. Being described as someone who dwelled in tents just means that his work kept him closer to home. He likely was involved in taking care of sheep or some sort of work like that. The parents did not help solve this sibling rivalry as Isaac preferred Esau and Rebekah preferred

Jacob. To say that a parent loved one is not to say that they did not love the other, but had a definite preference for the one.

With that introduction to these two young men, we go right into the first account from their lives that serves to demonstrate what kind of man Jacob is, since this is basically an account of his life. Look at verses 29-34. <sup>29</sup> Once when Jacob was cooking stew, Esau came in from the field, and he was exhausted. <sup>30</sup> And Esau said to Jacob, "Let me eat some of that red stew, for I am exhausted!" (Therefore his name was called Edom.<sup>[b]</sup>) <sup>31</sup> Jacob said, "Sell me your birthright now." <sup>32</sup> Esau said, "I am about to die; of what use is a birthright to me?" <sup>33</sup> Jacob said, "Swear to me now." So he swore to him and sold his birthright to Jacob. <sup>34</sup> Then Jacob gave Esau bread and lentil stew, and he ate and drank and rose and went his way. Thus Esau despised his birthright

Esau is pictured in a very negative even unflattering way in this account, and really in the whole story of Jacob. We are told that he is a skillful hunter, and yet he seems to have not been successful in his hunt. He was likely away for several days hunting in the wilderness. The Holy Spirit led the writer, Moses to paint a picture of Esau as someone who was no match for the quick witted Jacob who outsmarted him every time. In order to understand what is happening in this story, we have to understand this concept of a birthright. This birthright was significant. Typically, what would happen at that time was the firstborn son would receive a double inheritance. So, if there were 5 sons, the inheritance would be divided 6 ways and the oldest son would be given two portions and the other 4 sons 1 portion. So, in the case of a twin who is just minutes younger, those minutes are the difference between 2/3rds of the father's estate and 1/3 of his father's estate. The original Jewish audience hearing this would have been horrified at Esau's statement that his birthright was worthless if he starved. To them a birthright had value that went far beyond just money that would be inherited. It was a thing of honor that was not to be treated lightly. That's why verse 34 says that "Esau despised his birthright." Not only was he a failure as a hunter, at least on that day, his judgement was very poor and he was immature in the way he thought and reasoned and judged the importance of things.

An important question to ask is why tell us this story? Because depending on how you answer that question can lead you to very different applications. What do we know so far? Going back to Genesis 25:23 and the key statement about these brothers – *the older shall serve the younger*. As we read the chapters ahead that cover the life of Jacob, it becomes very clear that the point of this prophecy is that Jacob is the one whom God has chosen to pass his blessing on through, not Esau. So, is Jacob just fulfilling God's promise to Rebekah by sort of tricking him out of his birthright so that Esau truly would be the second and not the first in line to represent his family going forward? Is it okay to treat others in this way if it fulfills God's purpose in our lives? Did this begin to accomplish God's purpose of moving the family blessing to Jacob instead of Esau, at least from the human point of view? Yes, it did. But, did God need Jacob to do this act in order to make that happen? Of course he did not. And that's the point. God had already made the promise of giving Jacob the blessing, but like his grandfather before him, he did not have the faith to accept that God would work it out. Abraham and Sarah tried to "help God out" through the birth of Ishmael, and Jacob is "helping God out" by taking advantage of his brother. This is not true faith...this is actually showing his unbelief. True faith is living without scheming and deceiving, and it would take Jacob

much longer to learn this truth for himself. At this point in his life, he was living completely up to the name he was given -Jacob or Deceiver.

But before we just criticize Jacob for his lack of faith and choice to follow the human logic of deception and taking advantage of someone, we need to also criticize Esau. I know it is easy to say that he is the one who is being wronged, so all we should feel is sympathy for him, we need to understand how God wants us to view it through the writers of the New Testament. There are two distinct places in the New Testament where we are encouraged to look at the life of Esau and learn from his actions. [Hebrews 12:15-17](#) says, <sup>15</sup>See to it that no one fails to obtain the grace of God; that no “root of bitterness” springs up and causes trouble, and by it many become defiled; <sup>16</sup>that no one is sexually immoral or unholy like Esau, who sold his birthright for a single meal. <sup>17</sup>For you know that afterward, when he desired to inherit the blessing, he was rejected, for he found no chance to repent, though he sought it with tears. The clear New Testament picture of Esau is someone who does not value the gift that he has. The writer of Hebrews under the inspiration of the Holy Spirit uses Esau as the example of someone who misuses the gift of God’s grace to sin. Going back to what I said before about how bad this would be through Jewish eyes, what we may see just as foolish decision making is clearly treating something precious in a rude and evil way. God’s Word is clear that when we as a Christian choose to give into temptation and sin, that we are treating God’s grace and his salvation in the same way as Esau treated his birthright. The writer of Hebrews is talking about those who claim to know Jesus Christ as Savior, and he is saying that when we become bitter and angry or we live a sexually immoral lifestyle, we are acting in the same way Esau did. Esau had been given a great gift of this birthright. We have been given the greatest gift of all – salvation that brings eternal life. As [Romans 6:23](#) says, *For the wages of sin is death, but the free gift of God is eternal life in Christ Jesus our Lord.* Salvation from sin is the greatest gift any of us can ever receive because it is literally bringing life from death. [Ephesians 2:4-5](#) says, *4But God, being rich in mercy, because of the great love with which he loved us, 5even when we were dead in our trespasses, made us alive together with Christ—by grace you have been saved.*

Do you view it that way? Does it break our hearts when we sin and return to the life that salvation frees us from? In God’s eyes, our sin is the same as Esau despising this great gift of the birthright that he has been given. Yet, so many times, we despise God’s grace by our sin. We give in to the temporary pleasure of a sin just like Esau was willing to trade his greatest possession for a bowl of stew. I’m sure that stew was good. I love stew myself. But was it worth what he gave up? We won’t lose our salvation, but is our sin worth treating God’s grace in such a way? I fear that too many times you and I, we, are trading the love of God, the grace of God, for a bowl of stew. We are treating as trivial that which cost Jesus Christ his very life and separation on the cross from God the Father. Today, maybe you are a Christian that needs to repent of how you have been treating your salvation and God’s grace that he has extended to you in salvation. Perhaps there is a sin that you think you just can’t give up. You keep telling yourself that it’s small and insignificant, or its not your fault. The answer that God gives is confession and repentance. Coming to God and confessing that what you are doing or thinking or saying or watching is sin, and with God’s help, you want to turn away from it and live a different way. The Scripture verse [1 John 1:9](#) is written to believers. *9 If we confess our sins, he is faithful and just to forgive us our sins and to cleanse us from all*

unrighteousness. Do you need that cleansing today? Did you notice verse 17 of Hebrews 12. [For you know that afterward, when he desired to inherit the blessing, he was rejected, for he found no chance to repent, though he sought it with tears.](#) We will see in a few weeks that this birthright is tied to a family blessing given through Isaac that Jacob also deceptively steals from his brother. At that point, Esau begs for a blessing that his father can no longer give. Unlike the human father Isaac who we will see is following God's direction in withholding blessing, we have a Heavenly Father who promises to give forgiveness when we repent of our sins. [Isaiah 55:7 says, Let the wicked forsake their ways and the unrighteous their thoughts. Let them turn to the LORD, and he will have mercy on them, and to our God, for he will freely pardon.](#)

How can God promise this forgiveness no matter what we've done or who comes repenting of their sin? Think about this. If it was you or me and a mass murderer came and repented of their sin of many murders, would you forgive them, would I? God promises this because the work of repentance is his work in a person's life. We already said that Jacob, although second born was the one that God had chosen. He was trying to accomplish God's purpose his own way because of his lack of faith, but it did not take away from the fact that God had chosen him. This is the second significant way that the story of Jacob and Esau is significant in the New Testament. Their story shows us that salvation, bringing a person to repentance and faith is the work of God in person's life. You cannot choose God or work to have a relationship with God. If God has convicted you today that you are a sinner and need Jesus Christ to forgive you of your sins. You didn't come up with this thought. God is bringing you to this point through the Holy Spirit. [Romans 9:11-14 teaches this by the story of Jacob and Esau. ...In order that God's purpose of election might continue, not because of works but because of him who calls— 12 she \[Rebekah\] was told, "The older will serve the younger." 13 As it is written, "Jacob I loved, but Esau I hated." 14 What shall we say then? Is there injustice on God's part? By no means! 15 For he says to Moses, "I will have mercy on whom I have mercy, and I will have compassion on whom I have compassion."](#) By God saying he hated Esau was simply to say that he had not chosen Esau, but he had chosen Jacob. I don't mean to gloss over what is a difficult passage, but the clear point is that who gets the blessing, in the context of Romans 9, who receives salvation and forgiveness, is God's choice. Everyone of us in here today needs God's forgiveness. If you don't know Jesus Christ as your Lord and Savior, your biggest problem in this life is that you are dead in your sin. Only Jesus Christ who took the punishment for your sin on the cross can provide that forgiveness for your sin and new eternal life. If you recognize your sin today and your failure to obey and glorify God, then the response he wants from you is repentance. He promises to accept those who come to him in repentance and faith. [John 6:37 says, All that the Father gives me will come to me, and whoever comes to me I will never cast out.](#) Christian, I want to close with this challenge. Are you struggling with sin in your life. Confess it, forsake it and ask God's help to overcome it. Don't despise the grace of God, the salvation he has given us out of his great love. Don't despise God's grace for a convenient sin that like a bowl of stew gives temporary satisfaction while sacrificing our eternally important relationship with God. Let's pray